

2014年4月22日

各位

東京都千代田区大手町二丁目6番3号



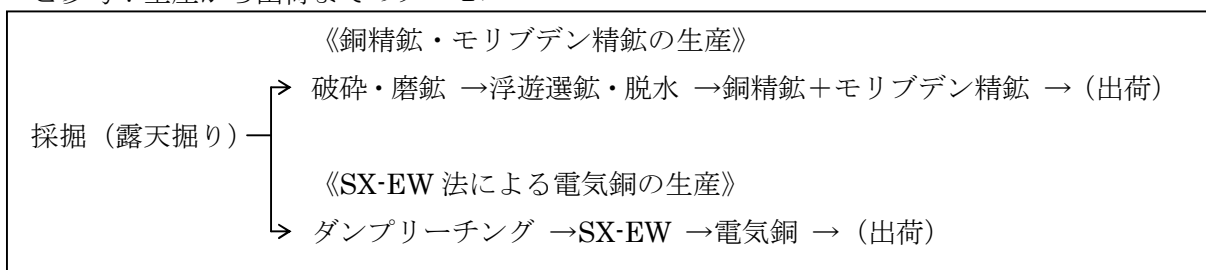
チリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」における
磨鉱・浮遊選鉱設備等の鉱石処理負荷試運転の開始について

パンパシフィック・銅株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：足立吉正、以下「PPC」）は、かねて推進しているチリ国「カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクト」（以下「本プロジェクト」）において、現地時間の4月17日に磨鉱・浮遊選鉱設備等の鉱石処理負荷試運転を開始しました。本負荷試運転を経て、5月中には鉱石処理量および精鉱生産量を徐々に増加させるランプアップに移行する見通しであります。

本プロジェクトは、SX-EW法による電気銅と、磨鉱・浮遊選鉱等の鉱石処理設備による精鉱の2種類の生産ラインを保有しております。SX-EW法については昨年3月に最初の電気銅を採取し、以後順調に稼働しています。今後の鉱石処理設備の稼働により、当初計画の生産体制が整うこととなります。

PPCは、引き続き本プロジェクトの円滑な推進を図ってまいります。

ご参考：生産から出荷までのプロセス



以上

お問い合わせ先：パンパシフィック・銅株式会社 総務部 東森

TEL：03-5299-7403

(ご参考) 負荷試運転の設備



一次クラッシャー建屋



一次クラッシャー投入の様子



SAG 給鉱コンベア



SAG ミル

お問い合わせ先：パンパシフィック・カッパー株式会社 総務部 東森

TEL : 03-5299-7403